

無火災への誓い新たに 平成25年村消防団出初式

平成25年鯉川村消防団出初式は1月4日、村公民館で行われ、今年1年の無火災を祈願しました。

式に先立ち、消防車両による村内分列行進で火災予防を呼びかけたあと、通常点検と水勢披露が行われました。式には、幹部団員や来賓など約150人が出席。無火災祈願の黙とう、村長あいさつ、団長式辞に続き、無火災分団と優良団員に表彰状が贈られました。

表彰を受けた分団および団員は次のとおりです。

▶無火災分団表彰()内は分団長名…第1分団(古館勝人、宗田貴)第2分団(矢吹俊幸、石井明光)第3分団(芳賀正信、吉保広幸、山形美好)▶優良団員表彰…[第1分団]円井一三(副班長)蛭田竜次(副班長)中川西幸雄(副班長)[第2分団]目黒信一(副班長)薄葉正勝(副班長)芳賀省悟(副班長)[第3分団]藤田博文(団員)生田目一宏(団員)



上…通常点検を受ける幹部団員
右…無火災分団と優良団員の表彰が行われた出初式



1年の無病息災を願う 村内で小正月伝統行事

小正月の伝統行事が1月に村内2カ所で行われ、地域の子どもたちや住民が1年の無病息災を願いました。

真坂地区では、真坂三矢会(矢吹浩美会長)主催の「とり小屋」が、1月13日に真坂農村公園で行われました。笹竹などで作った小屋に正月飾りや古いお札などを納めて供養しました。とん汁なども振る舞われ、地域住民が親睦を深めました。

落合地区では1月20日に「どんと焼き」を開催。子どもたちに伝統行事を知ってもらおうと催され、大勢の住民が参加しました。また、子どもたちも役員として参加。正月飾りなどを供養したあと、甘酒やすいとんを食べながら伝統行事を楽しみました。



上…真坂地区の「とり小屋」
左…落合地区の「どんと焼き」



炭出しや「縄もじり」を体験 東京農業大学里山景観保全活動

東京農業大学の第78回里山景観保全活動は、12月22日、23日の2日間、村内で行われました。

今回の活動には、学生20人が参加。初日は、葉貫地内で小林輝男さん(葉貫)に指導を受けながら、炭焼きの炭出し作業や「縄もじり」を体験しました。夜には、青戸代吉さん(彦次郎)の講話を聞き、里山の暮らしや年中行事について理解を深めました。2日目は、鈴木寛重さん(馬場)の指導で大豆の脱粒や選別作業を学んだあと、臼と杵を使った餅つきを体験し、つきたての餅を味わいました。



上…「縄もじり」を体験する学生
左…棒を使った大豆の脱粒作業

子どもたちが伝統行事を体験 こどもセンターで小正月の「だんごさし」



「だんごさし」を体験する子どもたち

小正月の伝統行事「だんごさし」は1月11日、こどもセンターで行われました。

子どもたちは西野長寿会の皆さんの手ほどきで臼と杵を使って餅つきをし、小さく切り分けられた餅をミズキに飾り付け、小正月の伝統行事を体験しました。

親子で楽しんだスキー教室 チャレンジスクール第7回講座



インストラクターから指導を受ける参加者

村公民館事業のチャレンジスクール第7回講座「スキー教室」は1月27日、猪苗代町の猪苗代スキー場で開かれ、親子23人が参加しました。

教室では、インストラクターに指導を受けながら、スキーの基礎を学びました。

村政TOPICS



作成された「こころのうた」

鯉川村青少年健全育成推進協議会では、「第十七回少年主張大会」「第十六回こども俳句・短歌・詩のコンクール」「第五回家族への短い手紙」の作品集「こころのうた」を作りました。子どもたちの「こころ」が集まってできた作品集です。公共施設などに置いてありますので、ぜひご覧ください。

育成 子どもたちの作品集 「こころのうた」作成



人権擁護委員に再任された水野さん

水野さんのほか、齋藤貴さん(赤坂西野字酒垂)と津田彰夫さん(渡瀬字木之根)が人権擁護委員に委嘱されています。

平成二十五年一月一日付で、人権擁護委員に水野きよ子さん(赤坂中野字宿ノ入)が法務大臣から再任されました。任期は、平成二十七年十二月三十一日までの三年間です。

人権擁護委員に 水野きよ子さん(再任)



放水訓練を行う消防団員

「文化財を守れ!」火災防衛訓練を実施
文化財防火デー火災防衛訓練は一月二十日、西山字戸倉地内「阿夫利神社」付近で行われました。
棚倉消防署鯉川分署員や村消防団員など関係者約五十人が参加。訓練では、防災無線運用や放水訓練が繰り広げられ、消防団員らは万が一に備えて真剣な表情で訓練に励んでいました。

村政TOPICS